



# 漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和5年11月2日(木) NO.19

ホームページ: <http://www.koishirosho.com>

E-mail: [koishiro2es@matsusaka.ed.jp](mailto:koishiro2es@matsusaka.ed.jp) 校長 橋本恵美子

## 令和5年度全国学力学習状況調査について

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した学力学習状況調査の調査結果がまとまりました。今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ですが、この調査結果を有効に活用して、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んで参ります。

### 漕代小学校の成果

○国語・算数とも全国・県・松阪市の平均を上回った。

・全国平均を 国語 7.8ポイント 算数 6.5ポイント 上回ることができました。

平均正答率	国語	算数
本校	75	69
松阪市	68.9	64
三重県	66.9	61.8
全国	67.2	62.5

○全国平均を上回った上位5問(算数)

・全国正答率より大きく上回った問題は、朱書きしたように「書くこと・説明する力」を問われた問題です。つまり、本校の児童は、自分の考えを言葉で説明する力がついていることがわかります。

問題番号	問題の概要	自校正答率	全国正答率	全国との差
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、 <u>選んだわけを書く</u>	60.0	20.8	+39.2
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの <u>求め方と答えを書く</u>	80.0	55.5	+24.5
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	60.0	46.0	+14.0
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、 $50 \times 40$ を計算する	93.3	80.8	+12.5
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に <u>着目して、分かることを書く</u>	66.7	56.2	+10.5

松阪市においては、今回も継続的な課題

苦手だった、図形の問題が解けました。

○国語の記述問題

・全国正答率より上回り、自分の考えを正しい言葉で書けています。

問題番号	問題の概要	自校正答率	全国正答率	全国との差
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、 <u>分かったことをまとめて書く</u>	73.3	70.2	+3.1
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことを <u>まとめて書く</u>	60.0	56.2	+3.8

## 児童質問紙より

### ○家庭学習の習慣

児童質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や教育活動などへの問いがあります。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」は、以下のように「よくしている」子どもの割合は、三重県や全国の割合よりも低い状況です。中学生になるにあたって、自分で計画を立て学習ができるようになってほしいです。

質問事項		よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	本校	6.7	46.7	33.3	13.3
	三重県	26.1	42.6	23.4	7.8
	全国	28.7	42.0	22.1	7.1

学校の授業時間以外に月曜日から金曜日に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか		3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
	本校	20	0	6.7	46.7	20	6.7
三重県	8.4	13.6	32	29.5	11.6	4.9	
全国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6	

※学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。

土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか		4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
	本校	20	0	6.7	0	40	33.3
三重県	5.5	4.1	9.9	25.2	37.8	17.4	
全国	7.9	5.4	11.4	27.8	33.7	13.8	

※学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。

学習時間について、10分×学年+10分は、必ず取り組もうと、進めているところです。宿題が早く終わった時には、自主学習をする習慣もつけていきたいです。

### ○地域探究学習で身につけたい力の育成

今年度より本校の教育活動の中心に据えた地域探究活動に関連した項目です。以下は、4月の6年生のみの結果ではありますが、基礎学力は定着しつつある、本校児童の次の課題が見えたものとなりました。年度末に全校児童を対象に再度アンケートを取ります。主体的に取り組む力、コミュニケーション力、地域への貢献・関心、自分の生き方に向かう力が、探究活動を通して培われていることを期待します。

質問事項		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	本校	13.3	60	26.7	0
	三重県	30.7	48.4	17.2	3.6
	全国	30.5	48.3	17.7	3.4
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	本校	20	40	40	0
	三重県	26.2	46.1	22.4	5.2
	全国	28.3	46.1	20.9	4.6
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	本校	20.0	46.7	33.3	0
	三重県	38.0	43.4	13.9	4.6
	全国	38.6	43.2	13.8	4.3
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	本校	13.3	66.7	20	0
	三重県	23.9	42.8	25.7	7.5
	全国	31.8	43	20.1	5
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	本校	40	60	0	0
	三重県	33.3	44.6	16.2	5.8
	全国	33.2	43.6	17.1	5.9

○規範意識が非常に高い一方、自己肯定感、行動力は控えめ。

将来の夢をしっかりと持ち、規範意識も高い子が多い。一方で、「自分には、よいところがある」と思える子どもの割合が低く、自己肯定感を高めることが課題です。「失敗を恐れずに挑戦する」「自分でやると決めたことは、やり遂げる」など、思いを行動にうつせる力も必要です。

質問事項		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
自分には、よいところ があると思いますか	本校	26.7	53.3	13.3	6.7
	三重県	40.3	41.6	12.1	6
	全国	42.6	40.9	11.4	5.1
将来の夢や目標を 持っていますか	本校	73.3	26.7	0	0
	三重県	59.7	20.9	10.3	9
	全国	60.8	20.7	10.4	8.2
いじめはどんな理由が あっていけないこと だと思いますか	本校	86.7	13.3	0	0
	三重県	84.8	12.6	1.8	0.8
	全国	82.6	14.3	2.3	0.8
人が困っているときは 進んで助けていますか	本校	26.7	73.3	0	0
	三重県	47.5	44.8	6.4	1.1
	全国	45.6	46	7.2	1.2

松阪市全体の「全国学力・学習状況調査の結果」は、松阪市のホームページに10月26日より記載されています。

## 児童の様子



強み (改善がされたところ)

- 目的を意識して、キーワードや文を見つけて要約することができるようになった。(国語)
- 筋道を立てて考え、それを数字や式、言葉などで数学的に説明することができるようになった。(算数)

弱み (つけない力)

- 漢字が定着していない。(国語)
- 文章と図表とを結び付けて必要な情報を読みとることが苦手。(国語)
- 図表やグラフから特徴や傾向を読み取ることや設定した問題に対して集めるべきデータを判断することが苦手(算数)



## 本校の今後の取り組み

- 地域探究学習や掃水小学校との交流学习を中心に、自分の考えを大勢の中で伝える楽しさ、相手の考えを理解し、自分の考えを広げたり深めたりする楽しさを実感できる授業づくりをします。
- 引き続き、文章や図表から必要な情報を読み取ったり、条件に合ったキーワードや文を文章から見つけて要約したりする機会を設定します。
- ミニテストや繰り返しドリル等を活用し、漢字・計算の習熟を引き続き図ります。・児童一人ひとりが、線の図、グラフなど書いたり、図表やグラフを読み取ったりする活動を増やします。
- 授業の終わりの「ふりかえり」で、自分の考えを数学的用語や科学的用語を使って説明したり、書いたりする活動を増やします。

## ○読書活動の状況

質問事項		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない		
					10分以上、30分より少ない	10分より少ない	
読書は好きですか	本校	60	13.3	20	6.7		
	三重県	38.5	31.6	17.8	12		
	全国	39.4	32.4	17.7	10.4		
学校の授業時間以外に、月曜日から金曜日に1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか		2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	全くしない
	本校	6.7	6.7	26.7	33.3	6.7	20.0
	三重県	6.8	9.7	17.7	23	16.6	26.1
	全国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5

※電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。

タブレットの導入後、ICT機器を学習道具として有効活用する授業が多くなっています。そのため、放課後の子どもの生活様式も大きく変わり、読書離れが危惧された本校ですが、本好きの児童は多いようです。今後も読書の習慣を身につけることができるような取り組みを進めます。

## ご家庭でご協力いただきたいこと

引き続き、「早寝、早起き」等の基本的な生活習慣の確立にご協力ください。

「朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」の項目は全国平均を上回っています。基本的な生活習慣の確立は、児童の「がんばる力」の土台となります。



子どもたちをたくさん褒めて、認めてやってください。



自己肯定感は学力テストの正答率に影響しています。自己肯定感を高めることが、学力向上に向かう手立ての一つです。「自分には良いところがある」と思える児童がもっともっと増えるといいなと思います。

平日や休日の家庭学習の時間を増やしていきましょう。

家庭学習の習慣をつけ、学習量を確保することが大切です。ある程度の勉強量が確保されると学力はのびていきます。学校でも、家庭学習の仕方など、子どもたちに伝えていきますので、ご家庭でも「10分×学年+10分」は机に向かって勉強する環境を引き続き整えてください。そして、はげまして勉強を見とけてやってください。



家でも本を読む環境づくりをお願いします。

